

税務課

確定申告書のデータ引き継ぎ庄原市が県内でいちばん！

広島国税局長が感謝状

感謝状の贈呈は中国地方で初めての事です！

4月9日、確定申告書のデータ引き継ぎを積極的に行ったとして、広島国税局から市に感謝状が贈呈されました。

データ引き継ぎとは、市町村が作成した所得税確定申告書の電子データを専用回線で税務署に送る仕組みです。書面の申告書を市が税務署に提出する従来の方法に比べ、添付書類の提出が省略できることや、還付金の返還が早くなることなど、申告する方へのメリットがあります。

市民の皆さんにデータ引き継ぎに必要な利用者識別番号の事前取得にご協力いただき、4133件すべてのデータを電子化するなど、他の市町村のモデルとなる取り組みが評価されました。



左から大原直樹副市長、木山耕三市長、広島国税局 重藤哲郎局長、庄原税務署 横田光幸署長

生涯学習課

個人の住宅では市内で初の登録

瀧口家住宅が国の登録有形文化財に！



左から片山祐子教育部長、木山耕三市長、瀧口峻さん、須澤軍治さん、須澤さんは5年間瀧口家住宅の管理を行っています。

平成30年3月27日付で春田町にある瀧口家住宅が登録有形文化財になりました。

瀧口家住宅は明治20年代後半ごろから地域住民が力を合わせて敷地造成工事に携わり、明治の終わりに地域の念願であった診療所として建築されました。道路から見える長屋門は門と住宅を組み合わせた重厚な造りとなっています。既に築100年を経過しているものの、当時の姿を現在までとどめており、大工の技量など、当時の技術の高さを知ることができます。また地域住民が力を合わせて建築に携わっており、大変貴重な文化財です。

4月12日、木山耕三市長から住宅所有者の瀧口峻さんに文化庁の登録有形文化財プレートが手渡されました。

教育指導課

可愛らしい1年生が入学

平成30年度板橋小学校入学式

板橋小学校は、全校児童154人、104家庭で素晴らしいスタートを切ることができました。地域と一緒に、チーム板橋で庄原を知り、庄原を愛し、庄原の発展を願う板橋っ子を育てます。

4月6日、平成30年度板橋小学校入学式を行い、男子16人、女子10人、計26人の可愛らしい1年生が入学しました。

式場には6年生に手を引かれて入場し、入学児童点呼では一人一人が大きな声で返事をすることができました。藤井義弘校長が、「入学おめでとう。この学校には優しく学校のことを教えてくれるお兄さん、お姉さんがたくさんいます。安心して学校に来てください」とお祝いの言葉を贈りました。また、馬場崇PTA会長は、入学児童へのお祝いの言葉とともに、保護者に対し、保護者の一人としての協力をお願いし、保護者を板橋小学校PTAの一員に迎えました。



教諭に続いて6年生に手を引かれて入場

自治定住課

庄原地域と口和地域の移住者増に期待

移住定住コンシェルジュ3人を配置



1. 積山道弘さん (口和地域担当)
2. 松園真さん (庄原地域のうち高、本村、峰田、敷信地区担当)
3. 宮崎孝記さん (庄原地域のうち庄原、山内、北地区担当)

市は、4月1日付で定住支援員(移住定住コンシェルジュ)を、積山道弘さん、松園真さん、宮崎孝記さんに委嘱しました。

積山さんは平成28年4月から2年間、口和地域を担当する定住支援員として活動し、引き続き口和地域を担当します。新たに委嘱された松園さんは庄原地域のうち高、本村、峰田、敷信地区を、宮崎さんは庄原地域のうち庄原、東、山内、北地区を担当します。

定住支援員は、空き家の掘り起こしその他、移住を希望する方や移住して間もない方にきめ細やかな支援を行い移住・定住につなげます。今回の配置により8人体制となり、市内全地域で定住支援員が活動をを行います。